

# 製造業の 価値創造プロセス 研修

デザイン思考(イノベーションの方法論)をかみ砕いた実践プロセス



## 研修の背景

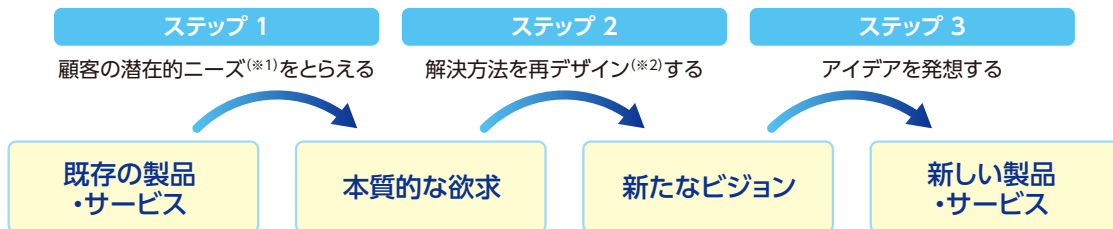
市場のニーズが、“もの”そのものの価値から、“もの”を使って得られる体験価値に変化する中で、製造業の開発は、QCDの追求に留まらず、顧客が感動する体験価値の創出に進化する必要があります。

## 研修のねらい

- ①顧客が感動する体験価値を創出するために、『製造業の価値創造プロセス』を体系的に習得します。
- ②新たなビジョンとアイデアを可視化したしたプロトタイプを提案して、新規需要を掘り起こします。
- ③顧客が感動する体験価値の創出を成し遂げて、希望を生み出し、職場のメンタル不調を防止します。

本研修を通じて、受講者は**価値発見力**と**課題解決力**を強化します。また、自分一人の力だけの限界を認識して、上司、職場のメンバー、社外を巻き込みながら仕事を進める**協働のリーダーシップ**を身につけます。

## 研修の構成



※1 潜在的ニーズ：あきらめている欲求、伝えきれない欲求、見えていない欲求 ※2 再デザイン：概念を壊して作り直す

## 研修の概要

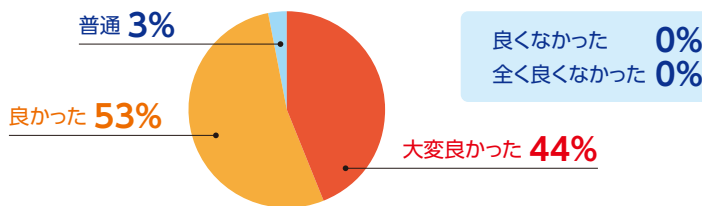
製造業の 価値創造プロセス	ステップ 1	<p><b>目的：</b> 傾聴、観察、分析を通じて、考え、感情、ニーズを共感を持って理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①既存の製品・サービスを使用している顧客を傾聴、観察する。</li> <li>②傾聴、観察の結果を分析して、潜在的ニーズを共感をもって理解する</li> <li>③顧客になつてくれない顧客候補を傾聴、観察する</li> <li>④傾聴、観察の結果を分析して、潜在的ニーズを共感をもって理解する</li> <li>⑤顧客と顧客になつてくれない顧客候補の本質的な欲求を探る</li> </ul>
	ステップ 2	<p><b>目的：</b> 顧客が感動する体験価値を創造するために、解決方法を再デザインする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑥慣習、前提、思い込みの限界を疑う視点</li> <li>⑦技術だけでなく、人間中心に考える視点</li> <li>⑧製品・サービスの意味を組み替える視点</li> </ul>
	ステップ 3	<p><b>目的：</b> アイデアを発想し、新しい製品・サービスを提案する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑨オープン・イノベーションのチームを作り、アイデアを発想する</li> <li>⑩ビジョンとアイデアを検証するプロトタイプを作る</li> <li>⑪ビジョン、アイデア、技術、ビジネスを関連付ける</li> <li>⑫顧客および顧客候補にプロトタイプを提案し、反応を確認する</li> <li>⑬新しい製品・サービスを開発し、顧客および顧客候補に提供する</li> </ul>

## 研修のコース

	① 1日コース	② 3日コース	③ 13日コース+宿題
要 点	○	○	○
考え方・手法	—	○	○
演習・実践	—	—	○
研修時間・期間	8時間・1日	24時間・相談	104時間・6ヶ月
研修費用(一人当たり)	4万円(税別)	12万円(税別)	52万円(税別)
人材開支援助成金	—	活用可能	活用可能

## 過去研修の実績 (評価とコメント)

- ✓ 受講者の97%が高評価!
- ✓ コメントの内容から現場で役立っていると考えます



## 受講者のコメント (抜粋)

「人が中心」のプロジェクトマネジメント」研修 (中企業の課長級)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人とプロジェクトマネジメントを合わせた観点の研修は初めてだった。学んだことを現場で実践する。</li> <li>● リーダーシップの話が一番興味深かった。</li> <li>● 自分を客観視することもできたし、今後活用できそう。</li> <li>● すぐに取組んだ方がよいことがたくさんあった。</li> <li>● 知らないことが多く大変有意義だった。</li> <li>● 内容が多く、時間が足りなかった。</li> </ul>
「ポジティブメンタルヘルス・目標と現状のギャップを前向きに解決する方法」研修 (大企業の部長級)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 非常に難しいテーマの研修であるにもかかわらず、体系的に整理されていてたいへん有用な研修だった。</li> <li>● 全体的にディスカッション中心であり、自分の頭で考えるよい機会となった。</li> <li>● 全体のつながりが分かりづらかった。</li> <li>● さまざまな知識を体系化し、マネジメントにどう活かしていくかという視点で整理できた。</li> <li>● 活用したいと思う。</li> <li>● ステークホルダー・マネジメントをあらかじめ考えておくことは重要だと認識した。</li> </ul>
「職場のストレスマネジメント」研修 (小企業の課長級と主任級)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職場のストレスマネジメントについて今までより詳しく理解できた。</li> <li>● 時間が足りなかった。ゆっくりお話を聞きたいと思いました。</li> <li>● 勉強になる部分やこれから実践してみたいことがありました。</li> <li>● 他人の意をくんで、話を聞いてあげられる上司になっていきたいです。</li> <li>● もう少しじっくり学びたかったです。</li> <li>● 自分自身の振り返りになりました。</li> </ul>

## 講師紹介

大学を卒業後、大手半導体設計企業に30年間勤務しました。前半の15年はマイクロコントローラ的设计エンジニア、後半の15年は管理職(100名規模のプロジェクトマネジャー、200名規模の開発事業部長など)の立場でさまざまな経験を重ねました。そして、2015年、開発プロジェクトの成功とメンタル不調の防止を両立するストレスマネジメントを確立した、という想いが強くなり起業しました。現在は、幅広い専門性を活かして製造業を中心に、**三方よし(人材育成よし、仕事の成果よし、メンタルよし)の組織をつくる**ストレスマネジメント研修を提供しています。

### 3つの資格

- PMP(Project Management Professional) ..... プロジェクトマネジメントに関する国際資格
- 国家資格キャリアコンサルタント ..... 仕事キャリアの意識と自己啓発を高める支援
- 心理相談員(中央労働災害防止協会) ..... 職場における人間関係と職場環境の改善支援

### 「デザイン思考」通信研修の添削指導講師

- 添削指導を通じて、デザイン思考を実践に応用するノウハウを身につけています。



(株)ストレスマネジメント実践研究所  
代表取締役・北尾一郎

## お問い合わせ

「製造業の価値創造プロセス」研修について、さらに理解を深めていただきたく、お話をさせてください。  
弊社ホームページより、どうぞお気軽にお問い合わせください。

<https://stress-manage.com>

